

アカイ・トータル・アドバンス思想の結晶

# GX-F71

ドルビーC搭載、スーパーGX・3ヘッドデッキ

¥89,800

# AKAI

© beim Hersteller  
Archiv Michael Otto  
HiFi-Classics.de



TOTAL ADVANCE DECK

# TOTAL ADVANCE DECK F71

いま、トータル・アドバンス思想の至極の結晶を創りたい。

最新のオートコンピューター機能を一言にいづくなら、「最新技術の複合化」といえるのではないだろうか。新しい技術が問われるのは大雑に性能が向上し、我々の夢を次々にかなえていく。中でもカセットデッキは、新技術導入スピードが最も速く、かつその種類も多いオートコンピューターのひとりで、メタルテープの出現、ドルビーCの登場をはじめ、マイクロコンピュータの積極的導入による操作性の飛躍的向上など、数えあげればキリがない

でしょう。しかし、これらの新しいウィークアップは、トータルバランスが整って初めて、それぞれの性能を遺憾なく発揮するということを忘れてはなりません。アカイはこのGX-F71に望みうる限りの最先端技術を取り入れながら、それらをお互いに高い次元で調和させることに努力を傾注。音質・メカニズム・操作性のすべてに大きく先進したトータル・アドバンス・デッキとして結実させています。テープファンのお得意さまに贈ります。Akai-Creative At Heart.

## ハイオリティ・サウンド

●スーパーGX-3ヘッドシステム  
ヘッドの理想は3ヘッド、しかも録音ヘッドキャップ3個、再生ヘッドキャップ1個のときにこのベストの性能が得られる。GX-F71はこの思想にもとづき、定評あるスーパーGXヘッドによる3ヘッド方式を採用。高送速率、高飽和磁束密度のローノイズタフスウェルヘッドを採用。また、耐摩耗性、ゴミ付着しにくいなどの機械的二次特性にも優れた性能を併せ、メタルテープをはじめ、あらゆるテープにゆとりをもって対応する高性能ヘッドです。



## ドルビーCタイプNR搭載

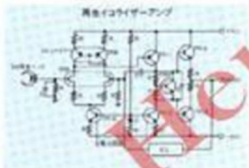
ヒスノイズを可聴レベル以下へ追放したドルビーCタイプNR。GX-F71は、Bタイプに加え、このCタイプを搭載。Cタイプはノイズ低減量がBタイプの約倍、1kHz~10kHzの帯域で最大20dBノイズを低減します。このノイズ低減量は、カセットデッキのダイナミックレンジをFMやレコードと同等のレベルにまで拡大するまでに設定された値です。このほかCタイプは、プリエンファシス（ノイズの急げ）を抑えるスライディングバンド方式や、高域での特性を大きく改善するスペクトルシェーピング、アンチサチュレーション回路も備えています。高域での周波数特性改善、音質劣化対策にも、万全の措置を講じています。またドルビーCは録

音モーター時にノイズ低減効果が確認でき、ダブルプロセス方式を採用しています。



## DCアンプ採用の録音アンプ

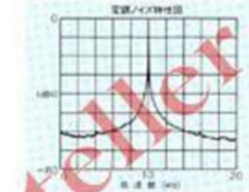
録音アンプに最適化したノイズを使った②③の電源方式によるDCアンプ搭載。特に再生系はデュアルFET、デュアルトランジスター採用の知投系録音アンプとSEPT構成で、しかも再生ヘッドにダイレクトカップリング。また録音アンプはリニア特別に優れたICオペアンプを採用。電源部も特別に強力なものを用いて、低歪率、広ダイナミックレンジ、位相特性の安定化など、音のクオリティを追求しています。



## プレジジョン・メカニズム

●オートコンピューター・ダブルキャプスタン&DD  
駆動系のクオリティとは、テープ走行の安定性に、かつ安定させることです。GX-F71では、クローズドルビー・ダブルキャプスタン方式のトランスポートメカニズムとフレックスドライブ方式を採用。きわめて高精密度テープ走

行を実現しています。2本のキャプスタンがヘッド部分のテープを確実にグリッpingして、一定のテンションを与えるため、走行に伴うテープの微細振動を吸収し、変調ノイズを大幅に低減。キャプスタン駆動用モーターには高い回転精度とバックヤク性を誇るFGサーボDDモーターを採用。長寿命・高信頼性を実現しています。さらに、マイクロDCモーターによるリールドライブ機構や独自のテープガイドを採用して、駆動系のクオリティをより高めています。



## メカ&クワイエットメカニズム

昔ながらアカイのメカ技術を駆使した新機構のメカニズムを採用。名づけてクワイエットメカニズム。各モーターの設定を、マイコンが専用モーターを制御して行コンパネシステムコントロールメカニズムで行うためメカノイズは極小。また、スリッping基盤でヘッドブロックはテープは常にフリップアップされているため、プレイ動作の上立ち上がりもスムーズ。耐久性もアップのオリジナル方式です。



## ダイレクトリードイン&パワー・ジェネレーションシステム

カセットテープをセットすれば、あとは希望のオペレーションボタンを押すだけで、自動的にローディング、テープのたまりを除去して、指示された動作に入るダイレクトリードインシステム。ジェネレーションコントロールのワードラップ方式で、プレイ中でもジェネレーションを抑制して自動的にジェネレート。アカイのメカ技術最新鋭のマイコン技術が結実し、これまでにない高い操作性を実現した新開発システムです。

## コンプレックス・オペレーション

### オートコンピューター・チューニングシステム

ドルビーC対応のヘッド、アンプ、走行系の高性能を、一掃に発揮させるため、GX-F71は、マイコン制御のオートチューニング機構を採用。16kHzの基準信号で録音、レベルの相違を行い、バイアス設定へ移行し、バイアス設定点はワンステップ3%で32ステップ設定あり。R&Bを代表に選択方向から徐々に深く、逆に浅く方向からバイアスを調整させた結果を平均し、この平均値よりさらにステップオーバーのポイントを最適・バイアス値とするため精度の高い方式。続いて、1kHz・1.5kHz・1.5kHzの3つの周波数でワイド・レベルをばらばらにコンテラクターが録音感度を調整。フラットな周波数特性を実現します。この間約17秒。終了と同時に確認し、録音スタートとなります。このチューニングデータは、自動的にマイコンが各テープポジションごとにつづつメモリー。また、チューニングレックポジションを記憶しており、タイマー録音時もオートテープチューニングができてから録音に入るという念な設計です。

## 収録をさらに追求した・コンピューターサーチ機構

レックサーチ機構：録音タイミングを逃した時、このボタンを押すことで録音を中止。曲間まで巻戻し、約4秒間の無音録音をして録音スタートボタンが独自の機構です。レックサーチ：FF(▶)とPLAY(▶)ボタンを同時に押すと、次の曲からテープヘッドで曲の頭を10秒ずつ自動的にスキップ再生。聴きたい曲がワンタッチで探せます。HPLS(自動抽出)：オートシステムスイッチをHPLSモードにして、FF(▶)またはRWD(◀)ボタンを押すと、自動的に次の曲または現在の曲の頭を探し出し、プレイ開始します。メモリーオートプレイ(機構：カウンターメモリー)：同時に押すだけで、3000位置まで巻戻すと同時に、自動的にプレイ開始します。

## 機能性をさらに充実させる・先進のオートシステム

オートフューダー：録音スタート状態でフューダーボタンを押すと、設定した録音レベルより5秒間だけ自動的にフュードイン。録音を始める。また、録音中フュードボタンを押せば、常に自動的にフュードアウトし、約4秒間の無音録音をしたのち、録音スタートとなります。オートモーター：録音スタート中はモーターの方をモーター。録音開始と同時に、テープモーター側へスライディング。録音する曲が頭から確認でき、モータースイッチの動作による録音スタートを未然に防いでくれる機構です。オートメモリー：録音中、このボタンを押せば、4秒間の無音録音をしたのち、録音スタートとなり、記憶したメモリー機構を省略した。タイマー録音時もオートテープチューニングができてから録音に入るという念な設計です。

より便利な機構。同時に、バイアス、イコライザーが専用のワンプラス値に設定されます。

## 見やすい・大画面ディスプレイシステム

メーター表示はVU/PEAK切換えのデュアル表示色LEDセグメントによるFL/バーメーター。しかも、VU/PEAKでスケールも切換わり、レベルの読み取りが確実に行えます。またメ



ター上にもテープポジション表示を設けて、最大録音入力レベルのワーニングゾーンをテープの位置で



- オートフューダーレベルヘッドホンレベルを調整できるオートフュードボリューム
- 巻戻してオートフュード録音もできるオートコントロール機構
- 留守録、日没し再生ができるタイマースタート機構
- 高さわずか10cm、光面のスラムボディ

ダブルキャプスタンDD&オートコンピューターチューニング搭載。ドルビーC内蔵のスーパーGX・3ヘッドデッキ。



写真はシーケン・パナソニック製機です。